

ガラピカ親水コート 施工説明書

はじめに必ずお読みください

- ガラス・カガミ表面の汚れが酷い場合は正しくコーティングが出来ません。そのままコーティングを施しても耐久期間が短くなるだけでなく施工が失敗する可能性があります。
汚れが酷い場合は、弊社製『ガラピカ』（別売り）で洗浄作業を行ってください。
- 品質保持期間を超過すると徐々に粘性が強くなり塗りムラ（干渉膜）が発生しやすくなります。
- 特に透明な窓ガラスに塗布すると光の屈折により塗りムラ（干渉膜）が発生しやすい傾向にあります。
コメント）塗りムラ、干渉膜が発生しても作業マニュアル通り仕上げることで解消可能です。

■ガラス面の下地処理（油膜・水垢を取り除く） ※失敗しないために重要な工程です。

■汚れが通常程度のガラス・カガミ

市販洗剤の例【①中性洗剤 ②お風呂用洗剤 ③ボディシャンプー ④ガラス用洗剤 etc....】

①市販の洗剤で洗い流す



M0261-SS
ナイロンパッドハンディ ミニ
寸法 85×49mm

■汚れがやや強いガラス・カガミの場合

弊社製『ガラピカ』で作業【①ガラピカ君+ナイロンパッドハンディミニ ②液体ガラピカ下地専用+ナイロンパッドハンディミニ】

自動車の場合【①ガラピカ for 自動車+リバーシブルパッドミニ（表面：ウールパッド+裏面：ナイロンパッド）】

- ① 本液をパッドに絞り出し磨く。☞ コツ：撥水がなくなり洗浄液が馴染むまで磨くのがコツです。
- ② 表面に液が残らないように水洗いする。

■汚れが特に強くガラス・カガミの場合（頑固なウロコ・油膜）

弊社製『ガラピカ』シリーズで作業【①ガラピカ手磨き ②ガラピカ/ダイヤモンド研磨シート ③液体ガラピカ強力タイプ】

ご家庭のDIY作業から業務用まで取り揃えております。詳しくは弊社の『ガラピカ』総合カタログをご参照ください。

施工方法は □手作業 □オービタルサンダー作業 □回転ポリッシャー作業 と様々。

詳細は各製品に付属の作業マニュアルをご参照ください。

購入前の相談などございましたらお気軽にお問合せください。【Qweb検索 ☞ ガラピカ】



オービタルサンダー作業



ポリッシャー作業

■コーティングを塗る

使用するもの【①弊社製「塗布専用ペーパー」 ②キッチンペーパー ③ティッシュ】

- ① ガラス表面が乾燥していることを目視確認する。
- ② 本液を塗布用ペーパーに適量絞り出しガラス・カガミ面に塗り延ばす。
コツ） 1. ややゆっくり引き延ばすように塗るとうまくいきます。
2. 施工面積が大きい場合は、台座塗とセットになった「塗布用セット」をお求めいただくと作業性が向上します。



使いやすい大きさに



塗布用セットミニ

折りたたむ



塗布用セット標準

■塗布後のアドバイス

- ① 塗りムラが発生したときは新品のMFクロス（マイクロファイバークロス）で拭けば解消します。
コツ） 1. 拭き上げは優しく撫でるように行うとうまくいきます。
2. 拭き上げは塗布してから10分～30分の間に行うのがベストです。
3. 塗布後の経過時間が長すぎると硬化がすすみ塗りムラが解消できません。
4. 逆に経過時間が短か過ぎるとトラブルのもとです。
- ② ご使用期間中のお手入れは水をかけるだけでOKです。
- ③ もし気になる汚れがある場合は水を含ませた柔らかいクロスかスポンジで水拭きする。
- ④ 再施工する際の次のウロコ除去作業が大幅に簡便化されるのが大きなメリットです。